

# 〔補足説明〕ボールガイドポストセットの有効可動範囲

## ー可動タイプー

### ■初期可動位置 ( $\alpha=0$ ) の算出方法

ボールリテーナが可動開始時のブシュ位置  $HS=L+Lb-Rp-Rb$

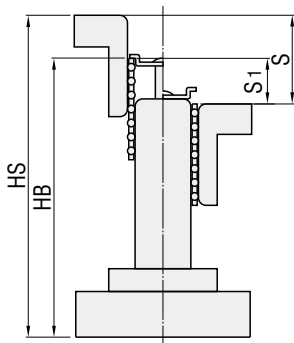
その時のボールリテーナの位置  $HB=L+Ms+5-t$

ブシュ可動量Sとボールリテーナ可動量 $S_1$ の関係  $S_1=S/2$

### ■接触限界上位 ( $\alpha=D$ ) の算出方法

接触上限時のブシュの位置  $Hb=HS-D$

接触上限時のボールリテーナの位置  $Hr=HB-D/2$



### ■ボールリテーナの可動限界下位の算出方法

その時のボールリテーナ位置  $Hr=密着長+5+Lh+Lb$

ボールリテーナの移動距離  $S_1=HB-Hr$

ブシュの移動距離  $S=2 \times S_1=2 \times (HB-Hr)$

ブシュの位置  $HS-S$

### ■ブシュの可動限界下位の算出方法

ブシュの位置  $10+Lh+Lb$

### ■接触限界下位 ( $\alpha=D$ ) の算出方法

まず、ブシュとボールリテーナの最大接触長時のブシュと

ボールリテーナの位置を算出(ブシュの位置=ボールリテーナの位置)

$HS-S_0=HB-S_0/2$ の時の $S_0$ を算出

その時のブシュ、ボールリテーナの位置  $Hb=Hr=HB-S_0$

そこからさらに下げていく時  $Hr-S/2-(Hb-S)+Rb=Lb-D$  のSを算出

その時のブシュの位置  $Hb=HB-S_0-S$

D	Lr	Lb	Lh	Ms	t	(Rb)	(Rp)
20	50	50	30	20	1.6	1.0	1.0
25	50	50	30	20	1.6	1.5	2.0
32	60	60	40	25	1.6	2.0	2.0
38	70	70	50	29	2.0	3.0	2.0
50	90	90	65	42	2.0	3.0	2.0

④ ( ) 寸法は参考値です。

L: ポスト長  
Lr: ボールリテーナ長  
Lb: ブシュ高さ  
Lh: ホルダ高さ  
Ms: ストップのMAX可動量  
t: ストップの皿部の厚み  
Rp: ポストのR  
Rb: ブシュのR

## ー固定タイプー

### ■初期可動位置 ( $\alpha=0$ ) の算出方法

ボールリテーナが可動開始時のブシュ位置  $HS=L+Lb-Rp-Rb$

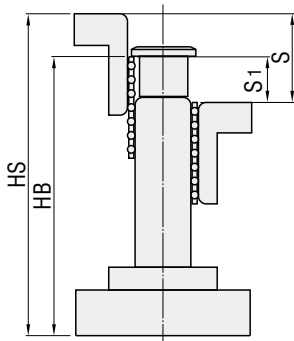
その時のボールリテーナの位置  $HB=L+K$

ブシュ可動量Sとボールリテーナ可動量 $S_1$ の関係  $S_1=S/2$

### ■接触限界上位 ( $\alpha=D$ ) の算出方法

接触上限時のブシュの位置  $Hb=HS-D$

接触上限時のボールリテーナの位置  $Hr=HB-D/2$



### ■ボールリテーナの可動限界下位の算出方法

その時のボールリテーナ位置  $Hr=密着長+5+Lh+Lb$

ボールリテーナの移動距離  $S_1=HB-Hr$

ブシュの移動距離  $S=2 \times S_1=2 \times (HB-Hr)$

ブシュの位置  $HS-S$

### ■ブシュの可動限界下位の算出方法

ブシュの位置  $10+Lh+Lb$

### ■接触限界下位 ( $\alpha=D$ ) の算出方法

まず、ブシュとボールリテーナの最大接触長時のブシュと

ボールリテーナの位置を算出(ブシュの位置=ボールリテーナの位置)

$HS-S_0=HB-S_0/2$ の時の $S_0$ を算出

その時のブシュ、ボールリテーナの位置  $Hb=Hr=HB-S_0$

そこからさらに下げていく時  $Hr-S/2-(Hb-S)+Rb=Lb-D$  のSを算出

その時のブシュの位置  $Hb=HB-S_0-S$

D	Lb	Lr	Lh	K	(Rb)	(Rp)
25	50	50	30	20	1.5	2.0
32	60	60	40	25	2.0	2.0
38	70	70	50	30	3.0	2.0
50	90	90	65	40	3.0	2.0
60	100	100	75	50	3.0	2.0

④ ( ) 寸法は参考値です。

L: ポスト長  
Lr: ボールリテーナ長  
Lb: ブシュ高さ  
Lh: ホルダ高さ  
K: ストップ高さ(ツバ部除く)  
Rp: ポストのR  
Rb: ブシュのR